

28年度の注目事業



中央公民館建設事業

奨学金貸付事業

福祉医療費事業

がん検診等事業

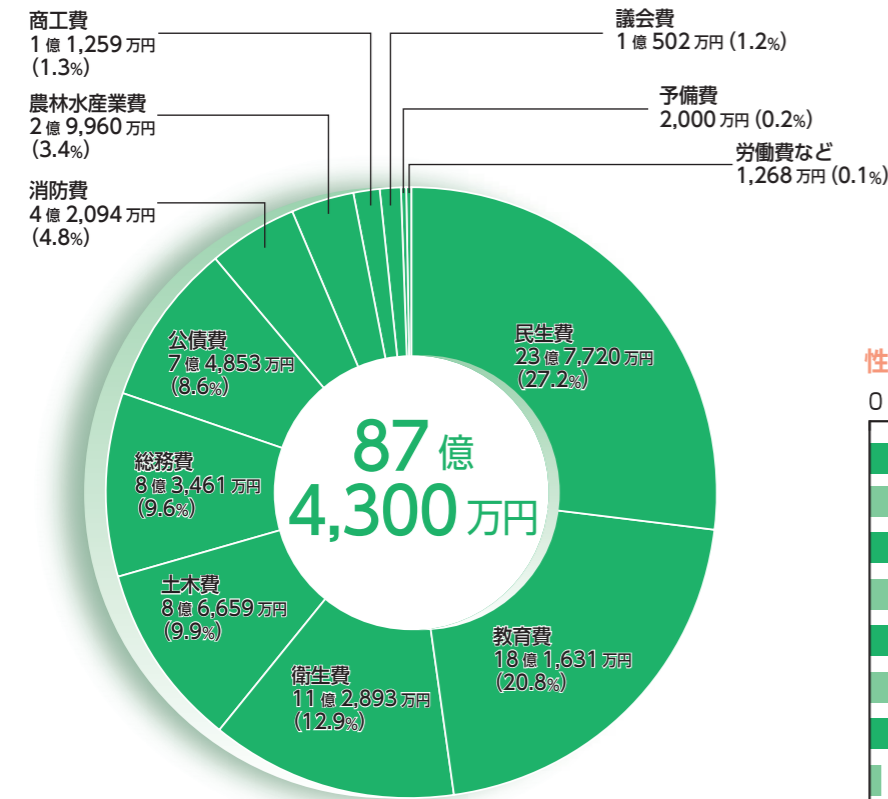
平成30年度の開館を目指し、28年度から建設工事がスタートします

就学にかかる資金を援助する奨学金貸付制度を町独自で新設

4月から、福祉医療費の対象を拡大。入院費を高校生まで無料に

受診率向上のため、受診対象者の検診料を一律500円に

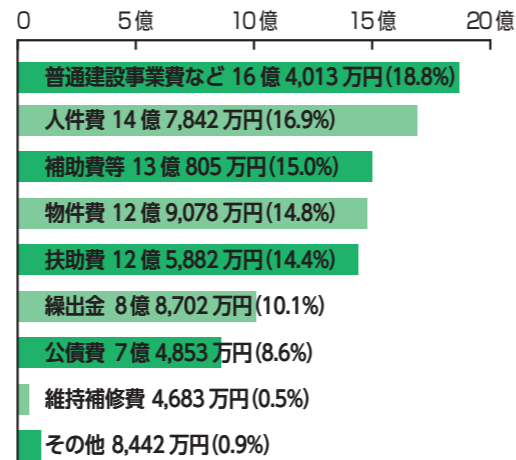
歳出 民生費・教育費が約5割



一般会計予算

87億 4,300万円

性質別内訳



医療費・給付費は年々増加 厳しい運営状況が続く
国民健康保険特別会計については、医療費の増加が続いていることもあり、予算規模は昨年と同様で厳しい財政状況になっています

特別会計

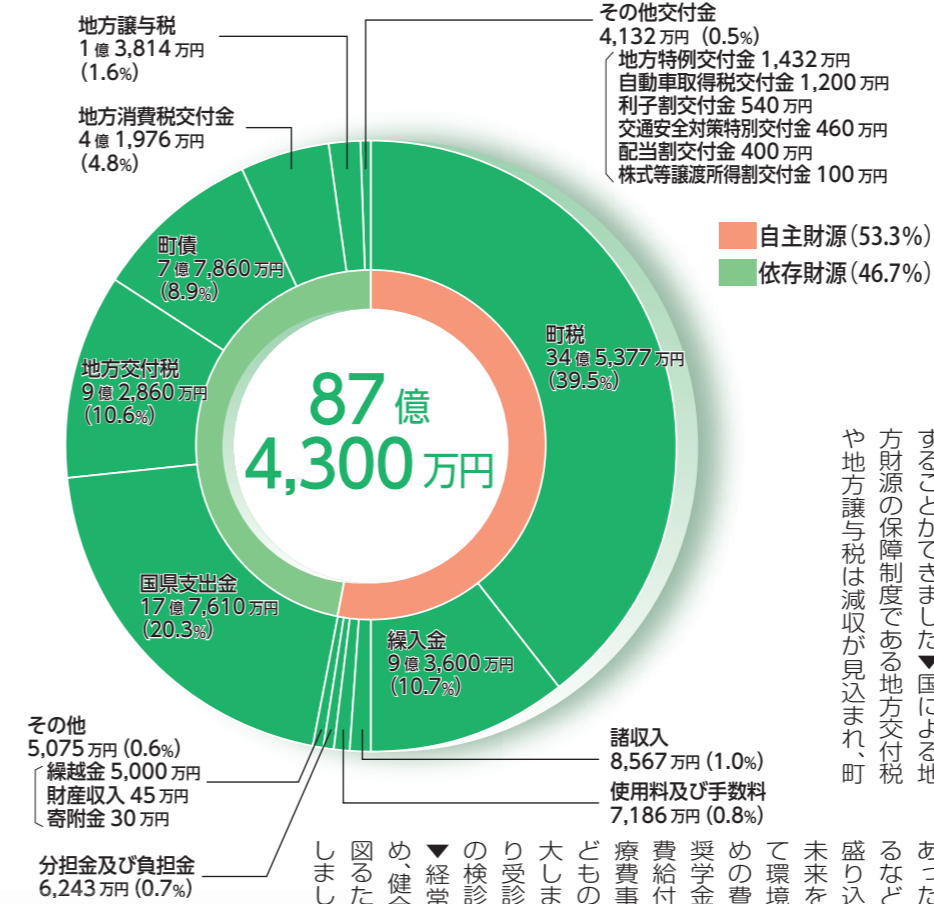
Table with 3 columns: 種類 (Category), 予算額 (Budget Amount), 対前年度比較 (Comparison with Previous Year). Rows include National Health Insurance, Elderly Medical Care, Nursing Insurance, Sewerage, and School Lunch.

平成28年度 まちの予算

平成28年度の予算についてお知らせします。予算規模は、一般会計で87億4,300万円。前年度に比べて1,000万円(前年度比0.1%)の減額となりました。前年度同様、過去最大規模の予算となりました。



歳入 町の自主財源は約5割



町税は前年並み、国県支出金・繰入金が増加。町債は減少
一般会計の歳入については、国や県の各種補助制度の有効活用を努めることに留意して編成しました

については、町民税、町たばこ税の減収が見込まれる一方、固定資産税や軽自動車税などの増収が見込まれることなどから増額としました

中央公民館建設工事の開始
そして、子育て環境を充実
一般会計の歳出については、町民の福祉を守り、景気浮揚に貢献するため、厳しい財政状況に配慮しつつ編成しました



用語説明

一般会計と特別会計
地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的な経費を処理する会計

歳入
町税 町民税(個人・法人、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など、町が集めることのできる税金)

歳出
民生費 主に高齢者、障がい者子どもひとり親福祉などに使われるお金

歳入
町税 町民税(個人・法人、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など、町が集めることのできる税金)
繰入金 町の基金・積立金から繰り入れるお金
国県支出金 町が行う事業に対し、国や県が交付する補助金など

歳出
国民健康保険 35億8,356万円
後期高齢者医療 2億2,496万円
介護保険 18億8,913万円
下水道事業 2億8,224万円
学校給食事業 2億4,635万円